

第19号 (第20条関係)

講 習 受 講 申 込 書

銃砲刀剣類所持等取締法

次のとおり申し込みます。

☐ 第5条の3第1項

☐ 第5条の3の2第1項

に規定する講習会の受講を

年 月 日

公安委員會殿

申 込 人	住 所		
	ふ り が な		
	氏 名		
	生 年 月 日	年 月 日	
	電 話 番 号		
	希望する講習の別	☐ 猟銃等講習会 ☐ クロスボウ講習会	
受講希望年月日	年 月 日	写 真	
受講希望場所			
所持許可の有無	☐ 有（ ☐ 猟銃 ☐ 空気銃 ☐ クロスボウ） ☐ 無		
		撮影	年 月 日

..... (この線から下には記載しないこと。)

	受講年月日	受講場所
予 定	年 月 日	
実施結果	年 月 日	
考查の結果	合 ・ 否	

- 備考
- 1 猟銃等講習会の申込みを行う場合にあつては第5条の3第1項とある□内に、クロスボウ講習会の申込みを行う場合にあつては第5条の3の2第1項とある□内にレ印を記入すること。
 - 2 所持許可の有無欄には、現に法第4条第1項第1号の規定による所持の許可を受けている銃砲等について、該当するものの□内にレ印を記入すること。
 - 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第10号（第9条関係）

教 習 資 格 認 定 申 請 書

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の5第2項の規定による射撃教習を受ける資格の認定を次のとおり申請します。

年 月 日

宮城県公安委員会殿

・ 申 請 人	本 籍			
	住 所			
	ふ り が な			
	氏 名			
	生 年 月 日	年 月 日（ 歳）		
	電 話 番 号			
現に交付を受けている 猟銃・空気銃所持許可証		交 付 年 月 日	番 号	交 付 者
教 習 希 望 銃 種		☐ ライフル銃 ☐ ライフル銃以外の猟銃		
所持希望銃種・型式				
欠格事由	☐ 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。 ☐ 私は、法第5条の2第2項第2号又は第3号に規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。			

- 備考
- 1 教習希望銃種欄には、該当する銃種の□内にレ印を記入すること。
 - 2 所持希望銃種・型式欄には、ライフル銃若しくは散弾銃又はライフル銃及び散弾銃以外の猟銃の別及び単身ボルト式、単身元折式、単身自動式、上下二連元折式、水平二連元折式等の別を記載すること。
 - 3 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第 6 号（第 9 条関係）

（表）

銃 砲 所 持 許 可 申 請 書

銃砲刀剣類所持等取締法第 条第 項の規定による銃砲の所持の許可を次のとおり申請します。

年 月 日

宮城県公安委員会殿

申 請 人	本 籍			
	住 所			
	ふ り が な			
	氏 名			
	生 年 月 日	年 月 日（ 歳）		
	電 話 番 号			
申 請 件 数		件 ※申請に係る銃砲欄（別紙）を作成すること。		
関 係 証 明 書 等		交 付 年 月 日	番 号	交 付 者
猟銃・空気銃所持許可証		年 月 日		
講 習 修 了 証 明 書		年 月 日		
技 能 検 定 合 格 証 明 書		年 月 日		
技 能 講 習 修 了 証 明 書		年 月 日		
教 習 修 了 証 明 書		年 月 日		

(裏)

同居人	☐ 無 ☐ 有 (人)
欠格事由	☐ 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。 (猟銃の許可申請者のみ回答) ☐ 私は、法第5条の2第2項第2号又は第3号に規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。
省略した書類	添付を省略した書類 ☐ 同居親族書(年 月 日 宮城県公安委員会提出) ☐ 市町村の長の証明書(年 月 日 宮城県公安委員会提出) ☐ 住民票の写し(年 月 日 宮城県公安委員会提出) ☐ 経歴書(年 月 日 宮城県公安委員会提出) ☐ その他()

- 備考
- 1 申請人が法第4条第5項の法人の代表者又は代理人、使用人その他の従業者であるときは、申請人の本籍欄にはその者の勤務する法人の事業場の名称を、住所欄にはその所在地、電話番号欄にはその者の勤務する法人の事業場の電話番号を記載すること。
 - 2 申請件数欄には、今回求める許可の件数を記載し、別紙に申請に係る銃砲について記載すること。
 - 3 猟銃・空気銃所持許可証欄には、現に交付を受けているものの交付年月日等を記載すること。
 - 4 同居人の欄には、その有無の該当する方の□内にレ印を記入し、同居人がいる場合にはその人数を記載すること。
 - 5 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
 - 6 省略した書類欄には、添付書類を省略した書類で該当するものの□内にレ印を記入し、その提出日を記載すること。
 - 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

(表)

							/	件
銃 砲	☐ 譲渡等承諾書のとおり							
	種 類				銃 番 号			
	型 式				銃 の 全 長		センチメートル	
	商 品 名 等				銃 身 長		センチメートル	
	公称口(番) 径		ミリメートル インチ		弾倉型式及 び充填可能 弾数			
	(実測口径)		(ミリメートル)		適合実(空) 包			
	特 徴				替 え 銃 身			
用 途	法第4条第1項に規定する用途							
	第1号		☐ 狩 猟		☐ 有 害 鳥 獣 駆 除		☐ 標 的 射 撃	
	第2号		☐ 人命救助		☐ 動物麻酔		☐ と殺	
			☐ 漁業		☐ 建 設 業			
			☐ その他の産業の用途（ ）					
現 所 持 者	☐ 第3号		☐ 第4号		☐ 第5号		☐ 第5号の2	
	☐ 第8号		☐ 第9号		☐ 第10号			
☐ 法第6条第1項に規定する用途								
現 所 持 者	☐ 譲渡等承諾書のとおり							
	住所							
	氏名							
電話番号								

(裏)

備考

- 1 所持の許可を求める銃砲ごとに作成すること。
- 2 申請時において銃砲欄（種類欄を除く。）又は所持しようとする銃砲の現所有者の住所、氏名及び電話番号欄の記載事項が不明の場合は、当該欄は記載することを要しない。
- 3 内容が譲渡等承諾書と同一の場合は、譲渡等承諾書のとおりとある口内にレ印を記入すること。
- 4 銃砲の種類欄には、拳銃、空気拳銃、ライフル銃、散弾銃、ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃、空気銃、麻醉銃、と殺銃、救命索発射銃、救命用信号銃、運動競技用信号銃、捕鯨用標識銃、捕鯨砲、もり銃、建設用びよう打銃、建設用綱索発射銃、鉋さい破碎銃等の別を記載すること。
- 5 型式欄には、拳銃にあつては単発式、回転弾倉式、自動装填式等の別を、ライフル銃、散弾銃並びにライフル銃及び散弾銃以外の猟銃にあつては単身ボルト式、単身元折式、単身自動式、上下二連元折式、水平二連元折式等の別を、空気拳銃及び空気銃にあつてはレバースプリング式、ポンプ式、圧縮ガス式、プリチャージ式等の別を記載すること。
- 6 商品名等の欄には、その商品名を記載し、商品名が不明の場合は、年式等の別を記載すること。
- 7 公称口（番）径欄の実測口径（銃口先端の内径について測定した長さ）は、公称口（番）径が不明なものに限り記載すること。
- 8 特徴欄には、銃床の折り畳み式、伸縮式、着脱式の別又はその銃砲を特定するために必要な彫刻、傷、修理の跡等について記載すること。
- 9 銃番号欄には、銃砲の機関部に打刻されている番号を記載すること。ただし、機関部に打刻番号がない銃砲については、銃身部（機関部と分離できない構造のものに限る。）に打刻されている番号を記載すること。
- 10 銃の全長欄には、銃口先端から銃口中心線の延長と銃の最後部に接する線が直角に交わる点までの長さを記載すること。
- 11 銃身長欄には、銃口の先端面から包底面（空気拳銃及び空気銃にあつては、弾丸装填孔の後端面）までの長さ（回転弾倉式ののものにあつては、弾倉の部分の長さを除く。）を記載すること。
なお、産業用銃砲等で銃身長の測定が困難なものについては、記載をすることを要しない。
- 12 弾倉型式及び充填可能弾数欄には、箱型（着脱式又は固定式）、チューブ型、回転式等の別及び弾倉に込められる実包等の数を記載すること。
- 13 適合実（空）包欄には、その銃砲に通常使用される実包又は空包の名称を記載すること。
- 14 替え銃身欄には、替え銃身ごとにその口径及び銃身長を7及び11により記載すること。
- 15 用途欄には、該当する事項の口内にレ印を記入すること。
なお、当該用途がその他の産業の用途である場合には、回転炉内の異常焼塊の除去等その具体的な用途を括弧内に記載すること。
- 16 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第12号（第11条、第17条関係）

				／ 件	
譲 渡 等 承 諾 書					
譲受 (借受) 人	住 所				
	ふ り が な				
	氏 名				
	生 年 月 日		年 月 日		
譲渡 (貸付) 物件	銃 砲	種 類		銃 番 号	
		型 式		銃 の 全 長	センチメートル
		商 品 名 等		銃 身 長	センチメートル
		公称口(番)径 (実測口径)	(ミリメートル イ ン チ 番 ミリメートル)	弾 倉 型 式 及 び 充 填 数 可 能 弾 数	
				適合実(空)包	
		特 徴		替 え 銃 身	
	ク ロ ス ボ ウ	型 式		クロスボウ番号	
		商 品 名		クロスボウの全長	センチメートル
		特 徴		クロスボウの全幅	センチメートル
	刀 剣 類	種 類		製 作 者 (銘)	
		刃 渡 り	センチメートル	特 徴	
	譲渡（貸付）人が 当該銃砲等又は刀剣 類について受けて いる所持の許可		許 可 番 号		
許可年月日等			年 月 日		
有効期間等			年の誕生日まで 譲渡（貸付）人の生年月日 年 月 日		
上記のとおり譲渡し 貸付けを承諾します。 年 月 日 譲渡（貸付）人 住 所 電話番号 氏 名					

- 備考
- 1 譲渡（貸付）物件欄には、別記様式第6号及び第6号の2の別紙並びに第7号の備考の例により記載すること。
 - 2 譲渡（貸付）人の住所、電話番号及び氏名については、譲渡（貸付）人が法人の場合にあつては、その法人の主たる事業場の所在地、電話番号、名称及び代表者の氏名を記載すること。
 - 3 不用の文字は、横線で消すこと。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別表第 1 の別記様式

(表)

経 歴 書

年 月 日

申請人氏名

職 歴	期 間	勤 務 先 ・ 職 務 内 容
	年 月から 年 月まで	
	年 月から 年 月まで	
	年 月から 年 月まで	
	年 月から 年 月まで	
	年 月から 年 月まで	
住 所 歴	期 間	住 所
	年 月から 年 月まで	
	年 月から 年 月まで	
	年 月から 年 月まで	
	年 月から 年 月まで	
	年 月から 年 月まで	

(裏)

猟銃等又は クロスボウ所持歴	期 間	銃 種	処 理 結 果
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
犯 歴	年 月	犯 歴 の 内 容	
銃砲刀剣類所持等取締法第5条第1項第3号に係る病気、同項第4号に係る中毒又は同項第5号に係る能力の欠如若しくは著しい低下に関する治療を受けたことがありますか。			有・無

- 備考 1 過去にこの様式の経歴書を添付して許可等の申請をした者にあつては、当該申請時以前の経歴は記載することを要しない。
- 2 職歴欄には、直前10年間の職歴を記載すること。
- 3 住所歴欄には、直前10年間の住所歴を記載すること。
- 4 猟銃等又はクロスボウ所持歴欄には、取消しを受けた、又は自主返納若しくは譲渡した許可に係る猟銃若しくは空気銃又はクロスボウについて記載すること。
- 5 猟銃等又はクロスボウ所持歴欄中期間欄には、最初の許可年月日及び失効又は取消しの年月日、銃種欄には、ライフル銃・散弾銃・ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃・空気銃・クロスボウの別、処理結果欄には、失効又は取消しの別及び失効の場合にあつてはその理由を記載すること。
- 6 犯歴欄には、罰金以上の刑が定められた罪に当たる違法な行為について記載すること。
- 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第13号（第11条関係）

同 居 親 族 書

年 月 日

申請人氏名

本 籍	☐ 申請人に同じ		
ふ り が な		職 業	
氏 名		本人との続柄	
生 年 月 日	年 月 日 (歳)		
本 籍	☐ 申請人に同じ		
ふ り が な		職 業	
氏 名		本人との続柄	
生 年 月 日	年 月 日 (歳)		
本 籍	☐ 申請人に同じ		
ふ り が な		職 業	
氏 名		本人との続柄	
生 年 月 日	年 月 日 (歳)		
本 籍	☐ 申請人に同じ		
ふ り が な		職 業	
氏 名		本人との続柄	
生 年 月 日	年 月 日 (歳)		

備考 1 記載する同居親族の本籍が申請人と同一である場合には、□内にレ印を記入すること。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第25号（第26条関係）

技 能 講 習 受 講 申 込 書

銃砲刀剣類所持等取締法第5条の5第1項に規定する講習の受講を次のとおり申し込みます。

年 月 日

宮城県公安委員会殿

申 込 人	住 所		
	ふ り が な		
	氏 名		
	生 年 月 日	年	月 日
	電 話 番 号		
許 可 証	許可証番号等	第 号	公安委員会
	交 付 年 月 日	年	月 日
受 講 希 望 関 係	□ライフル銃	希望年月日	年 月 日
		希 望 場 所	
	□ライフル銃 以外の猟銃	銃 種	□散弾銃 □その他
		希望年月日	年 月 日
		希 望 場 所	

- 備考 1 受講希望関係欄には、受講を希望する銃種の□内にレ印を記入するとともに、その希望日時、希望場所を記載すること。
- 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第 9 号（第 9 条関係）

獵銃等所持許可更新申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第 7 条の 3 第 1 項の規定による
所持の許可の更新を次のとおり申請します。

年 月 日

宮城県公安委員会殿

申請人	本 籍			
	住 所			
	ふ り が な			
	氏 名			
	生 年 月 日	年	月	日生（ 歳）
	電 話 番 号			
申 請 件 数		件 ※申請に係る銃砲欄（別紙）を作成すること。		
関 係 証 明 書 等		交 付 年 月 日	番 号	交 付 者
現に交付を受けている 獵銃・空気銃所持許可証				
講 習 修 了 証 明 書				
技 能 講 習 修 了 証 明 書				
同居人	☐ 無 ☐ 有（ 人）			
欠格事由	☐ 私は、法第 5 条第 1 項第 2 号から第 18 号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。 （獵銃の所持許可更新申請者のみ回答） ☐ 法第 5 条の 2 第 2 項第 2 号又は第 3 号に規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。			
省略した書類	添付を省略した書類 ☐ 同居親族書（ 年 月 日 公安委員会提出） ☐ 市町村の長の証明書（ 年 月 日 公安委員会提出） ☐ 経歴書（ 年 月 日 公安委員会提出） ☐ その他（ ）			

- 備考 1 申請件数欄は、更新の申請に係る銃砲について、別紙に記載すること。
- 2 同居人の欄には、その有無の該当する方の口内にレ印を記入し、同居人がいる場合にはその人数を記載すること。
- 3 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は口内にレ印を記入すること。
- 4 省略した書類欄には、添付を省略した書類で該当するものの口内にレ印を記載し、その提出日を記載すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

別紙

件数	更新の申請に係る銃砲	
／	銃 の 種 別	☐ ライフル銃 ☐ 散弾銃 ☐ 空気銃 ☐ ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日
／	銃 の 種 別	☐ ライフル銃 ☐ 散弾銃 ☐ 空気銃 ☐ ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日
／	銃 の 種 別	☐ ライフル銃 ☐ 散弾銃 ☐ 空気銃 ☐ ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日
／	銃 の 種 別	☐ ライフル銃 ☐ 散弾銃 ☐ 空気銃 ☐ ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日
／	銃 の 種 別	☐ ライフル銃 ☐ 散弾銃 ☐ 空気銃 ☐ ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

第 74 号 (第 94 条関係)

(表)
使 用 実 績 報 告 書

次のとおり使用の実績を報告します。

年 月 日

公安委員会殿

報告者氏名

許 可 番 号		銃 種 等	
許 可 年 月 日		許可に係る用途	
使 用 実 績	有 ・ 無		
	年 月 日		
	場 所		
	用 途		
	状 況		
備 考			

許 可 番 号		銃 種 等	
許 可 年 月 日		許可に係る用途	
使 用 実 績	有 ・ 無		
	年 月 日		
	場 所		
	用 途		
	状 況		
備 考			

(裏)

許可番号		銃種等	
許可年月日		許可に係る用途	
使用実績	有 ・ 無		
	年月日		
	場所		
	用途		
	状況		
備考			

許可番号		銃種等	
許可年月日		許可に係る用途	
使用実績	有 ・ 無		
	年月日		
	場所		
	用途		
	状況		
備考			

- 備考 1 直前3年間の使用実績がある場合は、直前3年間の使用実績のうち最近のものから順次記載し、使用実績がない場合は備考欄に理由を記入すること。
なお、状況欄には、消費弾数、同行者の氏名その他必要な事項を記載すること。
- 2 備考欄には、上記のほか添付書類名その他必要な事項を記載すること。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別記様式第2号（第3条関係）

猟銃用火薬類等譲受許可申請書

年 月 日

宮城県公安委員会殿

申請人	住所					
	ふりがな					
	氏名					
	生年月日	年 月 日				
	電話番号					
火薬類	種類	実包	空包	銃用霰	無煙火薬	黒色猟用火薬
	名称					
	数量	個	個	個	グラム	グラム
銃の種類及び適合実包（空包）		種類		適合実包（空包）		
現に保有している火薬類の数量						
許可証等の番号		☐銃の所持許可証 ☐技能検定通知書 ☐教習資格認定証 ☐練習資格認定証 ☐銃の登録証 第 号				
譲受目的						
譲受期間		年 月 日から 年 月 日まで				
貯蔵又は保管する場所						
消費計画		※火薬類の消費（購入）計画について、別紙を作成すること。				

備考 1 実包欄及び空包欄には、ライフル銃以外の猟銃用のものにあつてはそ

の番径、ライフル銃用又は拳銃用のものにあつてはその名称を記載すること。

- 2 現に保有している火薬類の数量欄には、許可申請時点において火薬庫外貯蔵している許可申請に係る火薬類の種類、名称（銃用雷管、無煙火薬及び黒色猟用火薬を除く。）及び数量を記載すること。
- 3 許可証等の番号欄には該当する許可証等の口内にレ印を記入し、当該許可証等の番号を記載すること。
- 4 譲受期間は、1年を超えないこと。
- 5 この申請書の提出に際しては、銃の所持許可証、技能検定通知書、教習資格認定証、練習資格認定証又は銃の登録証を提示すること。また、譲受目的が鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定による銃猟であるときは、同法の第一種銃猟狩猟者登録証又は許可証（許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証）を併せて提示すること。
- 6 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

許可申請に係る種類の火薬類の消費（購入）計画			
予定時期	予定数量	予定場所	備 考

- 備考
- 1 予定時期欄には、許可申請に係る火薬類の消費又は購入の予定時期を記載すること。
 - 2 予定数量欄には、消費又は購入する予定の火薬類の種類及び数量並びにその事由を記載すること。
 - 3 予定場所欄には、消費又は購入する指定射撃場、銃砲店等の名称その他消費又は購入することとなる場所を記載すること。
 - 4 備考欄には、無許可製造、無許可消費その他消費又は購入することとなる理由を記載すること。
 - 5 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

第21号（第22条、第25条、第29条、第56条、第70条、第82条、第82条の3関係）

講習修了証明書等書換申請書
の書換えを次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	ふりがな		電話番号
	氏名		
変更した事項	新	本籍	
		住所	
		氏名	
	旧	本籍	
		住所	
		氏名	
証明書等	証明書等番号	第 号 公安委員会	
	交付年月日	年 月 日	
	受講等場所		
	銃種		

- 備考
- 1 教習資格認定証、練習資格認定証及びクロスボウ射撃資格認定証に係る申請をする場合は、受講等場所欄には記載を要しない。
 - 2 講習修了証明書、年少射撃資格講習修了証明書及びクロスボウ射撃資格認定証に係る申請をする場合は、銃種欄には記載を要しない。
 - 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第22号（第22条、第25条、第29条、第56条、第70条、第82条、第82条の3関係）

講習修了証明書等再交付申請書
の再交付を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本 籍	
	住 所	
	ふ り が な	
	氏 名	
	生 年 月 日	年 月 日
	電 話 番 号	
申請の理由	※亡失、盗難又は滅失の状況を記載すること。	
証明書等	証明書等番号	第 号 公安委員会
	交付年月日	年 月 日
	受講等場所	
	銃 種	

- 備考
- 1 講習修了証明書、技能検定合格証明書、技能講習修了証明書に係る申請をする場合は、本籍欄には記載を要しない。
 - 2 教習資格認定証、練習資格認定証及びクロスボウ射撃資格認定証に係る申請をする場合は、受講等場所欄には記載を要しない。
 - 3 講習修了証明書、年少射撃資格講習修了証明書及びクロスボウ射撃資格認定証に係る申請をする場合は、銃種欄には記載を要しない。
 - 4 亡失、盗難、滅失その他の再交付を必要とすることを示す書類がある場合には添付すること。
 - 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第68号（第80条関係）

年少射撃資格講習受講申込書

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の14第1項に規定する講習会の受講を次のとおり申し込みます。

年 月 日

宮城県公安委員会殿

申 込 人	住 所		
	ふ り が な		
	氏 名		
	生 年 月 日	年 月 日 (歳)	写 真 撮影 年 月 日
	電 話 番 号		
受講希望年月日	年 月 日		
受講希望場所			
所持許可の有無	☐ 有（ ☐ 猟銃 ☐ 空気銃） ☐ 無		

-----（この線から下には記載しないこと。）-----

	受講年月日	受講場所
予 定		
実 施 結 果		
考 査 の 結 果	合 ・ 否	

- 備考 1 所持許可の有無欄には、現に法第4条第1項第4号の規定による所持の許可を受けている銃砲について、□内にレ印を記入すること。
- 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

（表）

年少射撃資格認定申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の13第1項の規定による年少射撃資格の認定を次のとおり申請します。

年 月 日

宮城県公安委員会殿

申請人	本 籍			
	住 所			
	ふ り が な			
	氏 名			
	生 年 月 日	年 月 日（ 歳）		
	電 話 番 号			
申 請 件 数		件 ※申請人を監督することとなる射撃指導員について、別紙を作成すること。		
関 係 証 明 書 等		交 付 年 月 日	番 号	交 付 者
猟銃・空気銃所持許可証		年 月 日		宮城県公安委員会
年少射撃資格認定証		年 月 日		宮城県公安委員会
年少射撃資格講習修了証明書		年 月 日		宮城県公安委員会
欠格事由	☐ 法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれの事由にも該当しない者であることを誓約します。			
備考				

- 備考
- 1 猟銃・空気銃所持許可証欄には、現に交付を受けているものの交付年月日等を記載すること。
 - 2 年少射撃資格認定証欄には、現に交付を受けているものの交付年月日等を記載すること。
 - 3 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は口内にレ印を記入すること。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

番号	申請人を監督することとなる射撃指導員	
／ 件	指 定 番 号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生 年 月 日	年 月 日
	銃砲の種類	空気銃 ・ 空気拳銃
／ 件	指 定 番 号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生 年 月 日	年 月 日
	銃砲の種類	空気銃 ・ 空気拳銃
／ 件	指 定 番 号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生 年 月 日	年 月 日
	銃砲の種類	空気銃 ・ 空気拳銃
／ 件	指 定 番 号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生 年 月 日	年 月 日
	銃砲の種類	空気銃 ・ 空気拳銃

- 備考 1 申請人を監督することとなる法第4条第1項第5号の2の規定による許可を受けた射撃指導員を記載すること。
- 2 不用の欄は、斜線で消すこと。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。